

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

163号



2014年11月24日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 中央図書館の改築について

10月18日(土)17時から約2時間、中央図書館視聴覚室で、区民13名と、館長以下4名の職員の方に出席いただき、お話を聞いたり希望を述べたり質疑応答することができました。

結論としては、まだどこに中央図書館を持っていくかも決まっていない、というだけでした。参加者の希望は、常盤台に分館でよいから図書館を置いて欲しい、に集約されたようでした。他にも具体的に駅前に土地を取得して中央機能も備えた総合的図書館を、と言う案や、平和公園の中に、とか、元のときわ台公園に戻すように、とか、様々な意見が出ました。区が区民の声を尊重することを願います。

○ 「東上線100年展」で解ったこと

— ときわ台駅と南宇都宮駅—

先月、「ギャラリー服部」で展示した「東上線100周年記念展」では東武博物館に色々お世話になりました。学芸員の方のお話から、東武線南宇都宮駅の駅舎が、ときわ台駅(旧武蔵常盤駅)の駅舎とそっくりだということを知りました。

南宇都宮駅は昭和8年、現地の大谷石を宣伝・普及するために、大谷石を使って作られたそうです。常盤台の駅舎もやわらかい感触の大谷石で出来ていました。今は改修のためと広告がべたべた貼られているため、大谷石の部分が目立たなくなっていますが。

両者を比べると、屋根や軒の模様まで同じデザインです。南宇都宮駅の2年後、昭和10年に作られたときわ台駅にお兄さんがあったなんてびっくりです。

常盤台の古い家には、塀の土台や入り口に大谷石を使った家が残っています。分譲当時、大体どの家にも多用された材料でした。劣化が目立つのが残念ですが、柔らかい素材としては仕方がない特徴なのでしょう。

大谷石についてはまだ良く調べていませんが、「大谷石研究会」という団体が大谷石を使った建築の写真集を出しています。常盤台は取り上げられていませんが、説明文の所にはこの二つの駅舎について言及していますので、知る人ぞ知ることだったのでしょう。

来年ときわ台駅舎は建築80年を迎えます。景観を守る会は、この二つの駅舎と大谷石をテーマに、また展示を企画しますので、お楽しみに！

○ 景観市民ネット

12月市民集会のお知らせ

12月13日(土) 13:30~16:30

会場：泉の森会館(狛江)

小田急線狛江駅徒歩2分

第1部 一年間の各地の活動報告

小石川植物園、渋谷鶯谷裁判、玉川学園、小平住民投票、国立裁判、狛江、調布、常盤台 等

第2部 講演

「まちづくりと税制」(相続税を中心に固定資産税、都市計画税等)について

講師 元国土交通省都市局局长

加藤利男氏

相続税や固定資産税などがまちの環境や景観を変化させ、まちづくりに大きな影響を与えます。細分化の原因もここに 있습니다。常盤台では大いに関係がある問題です。

スウェーデンの選挙

スウェーデンでは総選挙の投票率は常に八五%を超えるそうです。日本では「政治」界での変化を恐れる余り、投票率が上がると「寝た子を起こす」ことになるので、保守派の本音は投票率を上げさせたくない、という情けない状況です。

スウェーデンに行ったばかりの人の話では、「学校選挙」と言う制度があり、生徒に大人と同じ選挙をさせて、若い時から政治に関心を持たせるよう教育しているそうです。結果は、若いだけあって未来のことを考え、理想主義の強い結果を出してくるそうですが、今回も四〇万人もの生徒が参加したのです。人口比からすると、日本では四〇〇万人の参加になるとか。

日本では学校に株の勉強を取り入れよう、などという動きもありましたが、カジノで儲けよう、とか、とかく経済だけに振り回されていて、人間そのものを大事に教育しようとしていないのです。少子化となれば、少人数教育に踏み切れる絶好のチャンスが訪れたにもかかわらず教育予算が極端に少ないので、学校自体を統廃合したり、学級人数を逆に増やそうとしたりします。その結果、大勢を対象とした管理的教育しかできていないのが問題なのです。

いきなりの解散総選挙、政治の裏側を知らされていない国民はとまどっています。このままで行けばどうなるのか、しっかり未来を見据えて、投票に行くしかないのです。

* なお余りに急な展開なので、選挙の際は恒例となっている守る会のバザーは行いません。

泉岳寺の景観問題

前号で増上寺とお伝えしてしまいましたが、高輪の泉岳寺の隣で計画されている八階建てのマンションのことでした。実は増上寺でも同じような問題が起きており、数年前に請願が出されていたことから混同してしまいました。

今回反対運動が起きている泉岳寺でも、やはり計画変更を求めて請願を港区議会に提出、全会一致で認められたが、それでも業者を規制することができないようです。建築会社の良識が疑われるこういう問題は、このまま永遠に続き、世界に比類のない建築紛争は、まだまだ多発するのでしょうか。

裏では利益供与

渋谷区は住友不動産の「ラ・トゥール代官山」の建築違反をはじめとする便宜供与の見返りとして、同社から五千万円余の献金を受け取った疑いがある、と前号でお伝えしましたが、「疑い」ではなく「事実」であると「渋谷鶯谷町環境を守る会」から指摘がありました。

オレオレ詐欺また

ある人の所で数年前にかかってきた電話は、首にしこりができて、手術代を何とか、というものでした。ある人は久しぶりの息子からの電話と思いついで、小一時間もおしゃべりを聞かせたら、向こうから呆れて切ってしまったそうです。色々なパターンをお伝えするのが楽しみになってきました。

常盤台公園のはなづくり

十一月の声を聞くと、もうクリスマスMASの飾りつけは始まっており、お正月も間近と、年の瀬まで感じてしまいます。

ストックやパンジーなどの春用の苗を植えつけました。今回はメンバーが用事等で集まらず、助っ人を頼んだりして二日ばかりで何とか達成。ボランティア活動への参加を次回は呼びかけねばならないかもれません。

サクラが一本切られました。中が空洞になり、大きな枝が落ちて事故にならないように切るのでしょう。切り株を四〇cmほど残してくれたので、子供たちが座ったり席取りゲームをして遊んでいきます。工事を見ていた親方にちよつと話を聞くと、サクラは大枝を切ると弱ってしまうと、当然の話です。普段バサバサと切っているのはなぜなのか疑問です。

この世界にも成果主義なんてものが導入されているのかもしれない。世の中には成果が目に見えているものばかりではないのに、愚かなことです。樹木の管理だって何も手出しをしない時期があってもよいのだし、むしろそれが必要な時もあるのです。

成果主義といえば、東大に合格したら一〇〇万円出すという進学校は、この手の愚かさの最たるものですね。